



《御馬越の風景》

鉢盛おとし

今年も残りわずかとなりましたが、11月を「霜月」と呼びますね。明治初頭より陽暦（新暦）を採用した日本では、12か月を1月～12月の数字で表しています。しかし、それ以前は、季節感がわかるような和風月名で各月を表現しており、その11番目の月を「霜月」と呼んでいたのです。現在でも、陽暦（新暦）11月に当てはめ「霜月＝11月の和風月名」として用いています。陰暦の11月は、陽暦の11月と時期が違います。陽暦は陰暦から1か月ほど遅れています。陰暦の11月は、陽暦の11月下旬から翌年1月上旬頃に当たるのです。霜月は「しもつき」と読み、その意味・由来・語源にはいくつかの説があります。

もっとも有力だとされている説は「霜降り月、霜降月（しもふりつき）」が省略されて「霜月（しもつき）」に転じたというものです。陽暦（新暦）では12月頃となる霜月ですから、陰暦（旧暦）が用いられていた当時ではすでに霜が降りていたのでしょう。

ほかにも、満ちた数字である10を上月とし、それに対して下月（しもつき）になったという説、その年の収穫を感謝する意味を持つ「食物月（をしものつき）」が省略されたという説があります。今年はずでに霜も降りて急に寒くなっただけと思ったら暖かい日が続いたり寒暖差が大きいです。コロナが落ち着いてきた事は嬉しいですが、油断は禁物。いつ第6波が来るとも限りません。しっかりと体調を整えて生活したいですね。

令和3年度 朝日村文化祭

2021年10月30日(土)～10月31日(日)

◆じゃんけん大会

10月30日午前には、松本山雅FCオフィシャルマスコットのガンズくんも参加し、松本山雅FCのグッズが

さわやかな秋晴れの中、10月30日(土)・31日(日)に令和3年度朝日村文化祭が昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの予防対策を徹底した中での開催となりました。

メイン会場となるトレーニングセンターアリーナでは、保育園児や小学生の絵画、村内各種団体・サークルの作品展示が行われ、創意工夫溢れる作品が展示されていました。また、中古本のプレゼント会場もあり、初日から多くの人が気になる本や絵本を探しに来場し、大変にぎわっていました。



じゃんけん大会

当たるじゃんけん大会が行われました。

参加者はガンズくんのサイン入りボールやタオルマフラー等目当てに、ガンズくんとこのじゃんけんに一喜一憂し、とても楽しんでいました。その後、即席でガンズくんとその記念撮影も行われ、子どもたちは良い記念になったのではないのでしょうか。



◆文化発表会

10月30日、午後1時30分から文化発表会が行われました。今年も新型コロナウイルスの影響により活動が制限され、思うように練習ができないう環境ではありましたが、出演者は練習の成果を精一杯発揮していました。

朝日小学校金管バンドの発表では、演奏とあわせステージいっぱいを使ったステージドリルも披露し、綺麗に揃った動きで観客を魅了していました。



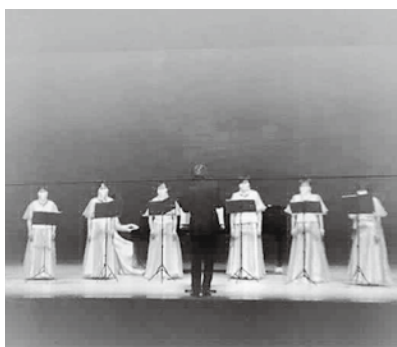
朝日小学校金管バンド

続いて、ステージ発表の替わりに鉢盛中学校3年生が特別授業で取り組んでいた「朝日鉢盛太鼓」の成果披露や、昨年レザンホールで行わ

れた「コーラスグループ ひまわり」のコンサートの様子がそれぞれ映像で披露されました。来年はぜひステージで発表できることを期待したいと思います。



鉢盛中学校3年生



コーラスグループ ひまわり

最後に、村内ダンスサークル「サンライズ」によるステージ発表がありました。子どもたちはポップスのリズムに乗り楽しくダンスを披

露し、観客や親御さんたちはその姿を動画や写真に収めていました。



サンライズ

◆スラックライン体験

31日の縄文むらでは、スラックライン体験が行われました。木々の間に張り巡らしたスラックライン（幅5cm）の綱の上を、バランスを取りながら渡るもので、体験者の方は初めに注意書きを読み体験されていました。なかなか皆さん難しいようで、高さ約30cmのスラックラインから、地面に落ちてしまう方も多かったです。でも、そこがいいのか何回もチャレンジして徐々に上手になられていました。



体験されている お子さん

◆美術館・資料館の無料開放

スラックライン体験等で賑わう縄文むらでは、美術館・資料館を無料で開放されていました。館内のふれあいギャラリーでは、「あ、火の見櫓！」写真展が、また展示室では、「昭和ノスタルジー展」が行われていました。火の見櫓の写真展では、写真の作者の方と写真を鑑賞されている方の間で、楽しくお話をされているのが印象的でした。

◆文化講演会

文化祭の最終イベントの文化講演会は、新しく改装された講堂で開かれました。本年度は、長野県下水内郡栄村の樋口正幸さんを講師に招いて、「300年後に集落を引き継ぐ〜震災から始まった魅力ある集落づくり〜」と題して、

講演して頂きました。お話の内容は、2011年の長野県北部地震の体験談、そして被災後に復興を進めてきた経験談でした。



講演されている樋口正幸さん

お話は貴重なもので書き切れませんが、特に記憶に残った事柄を紹介しますと、

- ・避難にあたって、近くのヘリコプターは東日本大震災に出動しており、京都からヘリを回して貰いました。
- ・避難所で不足する物は、リース屋さんが長野県中から集めてくれました。
- ・防災ボランティアの方々には、元気を貰いました。
- ・お祭りをやろうと若者が率先してくれました。
- ・文化財の復旧で過去にも集落の危機があったことを知りました。

等々です。

令和3年度 朝日村表彰式

10月31日(日)

10月31日(日)に令和3年度の朝日村表彰式が役場大会議室で10時より開催されました。本年度の表彰者は3名と1団体で、いずれも善行として感謝状が授与されました。お名前等は、左記になります。

★野田直子さん

お住まいは松本市で、村内5施設に絵画7点を寄贈されました。

★三村篤志さん

お住まいは中組で、村に対して寄付をされました。

★北澤俊彦さん

お住まいは安曇野市で、村内施設に業務用暖房機を寄贈されました。

★清澤土建株式会社 殿

塩尻市、朝日村等で活躍されている会社で、朝日村に対して寄付をされました。



野田直子さんの寄贈された絵画



シリーズ おらが村の地元職 ③



朝日果樹クラブ

朝日果樹クラブは、平成27年に、リンゴ畑を「荒廃から守っていかう」という思いからスタートし、現在、村内農家10名で活動しています。

この間、試行錯誤を重ねながら、リンゴや渋柿、ブドウの生産から販売まで様々な経験を積んできたそうです。

平成30年からは、村の特産品を作ろうと、クラブ共同農地で育てたリンゴやメンバーが生産したブドウを使用した、ジュースの製造・販売が始まりました。今年、10月9日から製造を始め、リンゴ（シナノスイート）、ブドウ（ナイアガラとコンコード）、ブドウミックスの4種類のジュースが製造されました。何度か私も、朝日果樹クラブのジュースを飲みました。とても濃厚で、高級感があり、大変おいしいジュースです。

今年のジュースの出来も含めて、朝日果樹クラブ会長の小林良樹さんにお話を伺いました。



●今年のジュースの出来はどうですか。

【答】日照不足で味が心配されましたが、すごく良く出来ました。

●ジュースを購入したいのですが。

【答】ファミリーマートで購入ができます。

●最後に村民の皆さんに、PRをお願いします。

【答】朝日のジュースとして誇りを持っています。果汁100%ですので、とても濃厚でおいしいジュースです。ぜひ、購入して飲んでみてください。



栗津原自動車工業

栗津原自動車工業は、昭和51年（1976年）9月に、栗津原さんが、「生活の基盤を築こう」と一念発起して起業されました。事業内容は、軽自動車から大型車までの点検・整備・車検・修理、全メーカー対応の新車・中古車販売です。

栗津原さんは、「全部一人で行うということで、強い責任感をもってやってきました」とおっしゃっていました。現在は、二代目となる息子さんが代表となり、ご家族で経営されています。

今では、地域みなさんに頼られる、なくてはならない自動車屋さんとなっています。

【連絡先】

栗津原自動車工業

☎ 99-2223

FAX 99-3291

【所在地】

朝日村西洗馬1267-1





サラダの里通信

あさひ保育園 保育参観

10月7日(木)あさひ保育園において保育参観が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しがみられないことから運動会は中止となり、代わりに3歳児、4歳児、5歳児ごとに参観という形で開催されました。

晴天の中、子どもたちは練習してきた成果をめいっぱい披露し、父母も2年ぶりとなる参観の機会を大いに楽しみ、撮影に勤しんでいました。

5歳児きりん組は、夏の間毎日練習してきた竹馬、続いてリレー、大縄跳び、よさこいソーランと多くの種目を披露してくれました。親子競技も行われ、久々に父母と触れ合う機会に子どもたちも大興奮でした。



よさこいソーランを披露する「きりん組」の子どもたち

鉢盛中学校 白峰祭

9月30日(木)・10月1日(金)2日間の日程で第55回鉢盛中学校白峰祭が開催されました。今年度のテーマは「Create」一人一人が主役へ。コロナ禍でできなくなったことに目を向けるのではなく、コロナ禍だからこそ「これまでにないものを創り出すこと」そして「今、自分にできること」を一人一人が取り組んでいくという願いが込められています。

新型コロナウイルス感染対策のため、保護者の来校はある程度制限する一方、初めてYouTubeでの動画配信に取り組み、画面越しとはなるものの多くの保護者が生徒たちの取り組み姿を閲覧できるように工夫されていました。



白峰祭の様子

第23回村民ゴルフ大会

11月1日(月)に塩尻塩嶺カントリークラブにて第23回朝日村民ゴルフ大会が、参加者48名(男性44名、女性4名)により行われました。成績は次のとおりです。

【優勝】
塩原孝太郎さん(三ヶ組)
【男性ベストスコア】
齊藤智之さん(ふたば台)
2大会連続
【女性ベストスコア】
齊藤くみ子さん(ふたば台)



ゴルフ大会の様子

朝日小学校 体育参観

10月16日(土)朝日小学校において体育参観が行われました。松本圏域の感染警戒レベルがまだ高いことから運動会は中止となり、代わりに体育参観として、種目数の削減及び内容の見直し、各家庭からの参観者も2名以内に限定、といった三密対策が取られての開催となりました。

かけっこ、竹引きなどはほぼ例年通りに開催された一方、男女別選抜者リレーは6年生全員参加リレーに、紅白玉入れはダンシングたまいに内容が変更されての実施など、コロナ禍でも工夫して開催されました。

やや強い風が吹く秋晴れの中、声援に代わり拍手が空に響く新しい形の運動会となりました。



6年生リレー

熊久保だより

「朝日美術館・民俗資料館発行」

令和3年度

展覧会報告

4月1日～5月30日

日本画展「会・相・愛」

本展は、昨年4月に開幕したところ、コロナウィルス感染対策のため美術館が臨時休館となり、一週間で終了を余儀なくされてしまいました。

そこで、出品者の方々にご協力いただき、一年越しの再開催が実現しました。この間に制作された新作も加わり、日本画講座講師を務める百瀬邦孝（くにたか）さんと受講生10名による日本画71点が並びました。

日本画の画材は独特で、その扱いには伝統的な技術が必要であるにも関わらず、一つの作品は斬新で、これまでの日本画のイメージを一新させてくれるものでした。受講生とはいえ10年以上のキャリアと受賞歴を持つ方々の作

品は伝統に縛られず、それぞれ自分の描きたいものを追求してきた成果が個性となって昇華されていることを実感する日本画展でした。



4/29 日本画展ギャラリートークの様子



出品した日本画を作者が解説します

6月5日～6月27日

丸山孝志刺しゅう絵画展

「彩り」

山形村在住の丸山孝志（たかし）さんの刺しゅう絵画展

を開催しました。整体師の仕事もされている丸山さんは「自然体」をテーマに10代の頃から写真や絵画などの創作活動をおこなってきました。

ある時、昔からフランス刺繍をされていたお母様の持つっていた大量の刺しゅう糸を見た丸山さんは、糸の微妙な色の違いを活かして絵を描けないかと思いつき、刺しゅう絵画の制作を始めました。異なる色の刺しゅう糸で豊かな色彩を表現し、糸の重なりで立体感を生み出しながら描かれる風景や動物は人の心を癒してくれます。



6/18 ふれあい学習で語る丸山孝志さん

自身が体調を崩された経験を持つ丸山さんはギャラリートークで作品や制作についてのお話と共に健康的な生き方についてもお話ししてくださいました。



6/20 丸山さんによるギャラリートーク

3週間ほどの短い展覧会でしたが、多くのお客様が丸山さんの刺しゅう絵画に惹かれて来館してくださいました。

7月3日～8月20日

野村剛展「日常」

塩尻市出身の野村剛（つよし）さんはイラストレーターの登竜門である雑誌への投稿を続ける中で色粘土で絵を描くという手法にたどり着きました。



7/19 ギャラリートークで語る野村剛さん

今回の展覧会では、雑誌『Number（ナンバー）』で野村さんが挿絵を担当した時の原画をはじめ、初期の作品から現在までの20年間の作品を展示しました。



野村さんのアトリエが再現された会場

美術展示室の広い会場には茅野市にあった野村さんのアトリエの間取りを再現し、実際の冷蔵庫や流し台の中に野村さんの粘土絵画を配置したり、粘土で夜景を描いた襖を設置したりという朝日美術館では初めてとなるインスタレーション展示が行われました。（※インスタレーションとは作品単独ではなく作品を設置した空間そのものを作品として体感させる芸術のこと）

コロナ禍で変わってしまった日常を反映させた作品を創

るなど、常に作品を現在進行形のものとして考え続ける野村さんは展覧会会期中にも美術館内で作品を制作されていました。

開催中の展覧会

9月18日～12月28日

昭和ノスタルジー展



海外スター女優が表紙を飾った『キネマ旬報』

コロナ感染状況の悪化により、8月21日から美術館は臨時休館となりました。ようやく警戒レベルが下がり、9月18日から開館できることになりましたが、9月4日から開催予定だった「カミジヨウミカ展2021 芋虫のよな手指で描く自分」は令和4年度に延期となりました。

代わりに収蔵品で企画したのが「昭和ノスタルジー展」です。昭和の時代を懐かしく思

い出す品々を紹介しています。初出しで目を引くのが映画

雑誌『キネマ旬報』です。大正11年に開館し、昭和42年ま

で使われていた土蔵の旧朝日村図書館に所蔵されていた資

料は、すべて朝日美術館に保管されています。その中に当

時購読していた『キネマ旬報』がありました。オードリー・

ヘプバーンやソフィア・ローレンなど著名な海外女優たちが

表紙を飾っています。昭和33年から42年までに発行され

たうちの74冊が残っており、当時のメイクやファッション

の変遷も楽しめます。このほか、『智恵子抄』で知られる詩人

で彫刻家の高村光太郎を生涯にわたり研究され

た文芸評論家の北川太一さんが制作した木版画も昭和の味

わいを感じさせます。

10月16日～11月7日

『あ、火の見櫓！』写真展

朝日村西洗馬在住の平林勇一（ゆーいち）さんが撮影し

た様々な火の見櫓を紹介する写真展です。

平林さんは平成22年に美麻村（当時）で木製の火の見櫓

と出合ってから火の見櫓巡りを始めました。これまでに各

地を訪ね、撮りためた写真は一万枚に上るそうです。それ

を建築士の目線で分類してまとめ、令和元年に『あ、火の見

櫓！火の見櫓観察記』を出版されました。

会場には平林さんが選び、コメントを付けた火の見櫓の

写真68点が並びました。



道をまたぐ火の見櫓（富士吉田市）

日頃、気に留めたこともなかったけれど、こんなに種類があるなんて、とびっくりさ

れた方は多かったのではない

でしょうか。しかし、時代と

ともに火の見櫓は撤去される

ケースが多く、年々消えゆく風景になりました。

次回展覧会

11月20日～12月19日

みんなの集もり作品展

コロナでうち時間が増えたので、この機会に作って

民俗資料館のお宝拝見 ⑩

台付深鉢（だいつきふかばち）

資料館には、熊久保遺跡から出土した土器を中心に、他の

資料館や博物館では類を見ないほど多数の土器が展示されて

います。中でも顔面把手付土器（県宝指定）や焼町式土器、釣手

土器は近在に見られない逸品です。

今回ご紹介するのは、平成28年、山鳥場遺跡の発掘

調査で発掘された「台付深鉢」（縄文時代中期・約五千年前）

です。この「台付深鉢」は、口縁部直径約23cm・器高約25cm（い

ずれも残存部）と、それほど大きな土器ではありません。

また、埋甕として使用されていたため、底部・台部および

口縁部の一部が欠落しています。文様は、口縁部から頸部にかけて刺突文、胴部には渦

文（唐草文）と剣先文が丁寧

に施され焼成も良い状態です。文様や器形から見て、下

伊那地方の影響を受けていると思われ

ます。なお、この土器は、今年度長野県埋蔵文化財センターに

よる「縄文カード探検マップ」（県内の有名な遺跡を10か所

掲載）に取り上げられ、現在来館された方に写真のよう

なカードを配布しています。ご希望の方はお早めにどうぞ。

希望の方はお早めにどうぞ。

希望の方はお早めにどうぞ。

希望の方はお早めにどうぞ。



これが土器カードです！



窓口情報

※本人の了承を得て掲載をしています。

おめでた

地区名	出生児	月日	父	母
古見	清水 智貴	9・2	達也	美緒
原新田	羽多野竜玖翔	9・6	貴久	弥奈

おくやみ

地区名	氏名	年齢	世帯主
下組	清水 修二	95	清水かおる
中組	松山 明夫	75	松山 克洋
南上	近藤嘉根男	90	近藤ちよ子
下古見	上條 昭三	78	上條さち子
本郷	三村 民夫	87	三村 広
大石原	齊藤 敏巳	98	齊藤 幾夫
原新田	北村 禎久	90	北村 友一



顔が丸い。本当に丸い。圧倒的丸さである。母の顔は逆三角形でシッとしていた。兄も同じくシッとした顔を持っていた。父の顔は丸い。加えて大きい。たまに空に見える立派な十五夜のようにまんなまるである。完全に父親のまん丸フェイスを受け継いでしまった。しかし、私は父親とは違う。私の顔は丸くて小さくて白い。母は私のことを白玉団子という。丸くて小さくて白い私の顔は、丸くて大きい父とは違う。断じて違うのだ。だが、やはり丸い。今まで気にしてこなかったのだが、「お前の顔、円周率使って面積求められそうだな」と、馬鹿にするように言われた兄の言葉をきっかけに自分の顔の丸さが気になって仕方がない。

白玉団子顔

極めつけに兄から付けられたあだ名はπである。よく、観光地に記念撮影用のイラストや写真の描かれたボードに丸く穴がくり抜かれた顔はめパネルがあるだろう。あれは私のためにあるようなものである。逆三角形顔の兄はあの枠に合わない、いつも隙間が空いてしまう。私はあの枠にぴったりと収まり、自然な顔ハメパネルの記念写真が撮れてしまう。友達と撮った写真でも、私はひと際顔が丸い。年頃の女の子にはこの丸顔が気になってしかたない。



お台所
エッセイ

148

かみじょう かの
上條 叶(南上)

に骨格自体が丸く作られているのだ。顔を撫でると私の骨格は綺麗に円を描いている。もう為す術はないのかもしれない。しかし、最近祖母から良い情報を得た。年老いた際、丸顔の人はすごく若々しく見えるらしい。と言うことは、数十年後に私の白玉団子フェイスが輝く時代が来るということだ。よし、今に見てろ！逆三角形顔族よ。いつか私は皆が羨む白玉団子フェイスおばあちゃんとなるのだ。

みんなのアトリエ



朝日小学校 5年1組

おくはら
奥原 ほんみさん

「重なるカボチャ」

黄色いカボチャの影の部分の色を作るのが難しかったです。



朝日小学校 3年1組

かみじょうみさお
上條 操さん

「オリンピックのひまわり？
ピクトリーブーケ？」

葉っぱを、塗る向きを考えて、はっきりと塗るのが難しかったです。

朝日村の新型コロナワクチンの接種状況

朝日村ワクチン接種は、対象者数の88.1%の方が接種を希望をして、予約者の2回目接種が10月23日に終了しました。

今後のワクチン接種の対応は次のとおりです。

各諸事情により、接種を受けられなかった方への対応として県の接種への案内を全戸配布、ホームページなどでお知らせします。

また、国の方針で3回目の接種の予定もあるので、その中で対応をしていくことも検討しています。

12歳接種年齢到達児等は、塩尻市にて接種が可能となったので、ホームページなどでの確認をお願いします。

3回目接種への対応ですが、2回目接種を終了してから概ね8か月以上経過した方を対象に追加接種を行うこととし、令和4年2月頃から開始をしていく予定です。